

学校教育目標

- 基礎・基本を大切に、ねばり強く学び続ける態度を育てます。【知】
- 社会の基本的なルールやマナーを身につけ、自立する力を育てます。【徳】
- 心と体を健やかに、はぐくみます。【体】
- 互いのよさを認め合い、共に生きていこうとする態度や力を育てます。【公】
- 人とのかかわりを豊かにし、社会への視野を広げる態度を育てます。【開】



〈ホームページアドレス〉

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamishirane/>

「令和2年度を振り返って」

校長 室伏 健治

西門にある桜のつぼみが大きく膨らみ、少しずつきれいに咲き始めました。花壇やプランターには環境整備委員会の子どもたちが一生懸命植栽した花々が、とてもきれいに咲いています。

さて、このように春を感じる3月11日(木)、本校では第50回卒業証書授与式を挙行了しました。今年度は、感染症拡大防止のため、卒業生と保護者の皆様には会場に入場していただき、在校生は教室で視聴する形となりました。感染予防のために様々な制限がある中で、例年通りの内容を行うことができませんでしたが、一人ひとり凛とした姿で卒業証書を受け取り、全員で式歌を立派に合唱することができました。参加された保護者の皆様に、しっかりと成長したお子さまの姿を見ていただけたことは本当によかったと思います。



振り返れば、令和2年2月下旬に緊急事態宣言が発令され、学校は長い臨時休業に入りました。今年度も2か月間の臨時休業が続き、3か月余り、学校生活を送ることができないところから本年度は始まりました。6月から再開しましたが、マスク着用、手洗いの慣行、限定された活動など、新しい生活様式の中での学校生活となり、これまで経験したことのないものになりました。また、感染拡大の状況によって校外学習の延期や中止、体育祭の縮小、来夢祭の中止など子どもたちが楽しみにしていた、一人ひとりの成長の場であり、集団の絆を深める様々な行事を通常通り実施することが困難となりました。しかし、子どもたちは常に前向きで、各教科の授業、総合の時間、学級活動、休み時間、放課後の部活動など、あらゆる場面でその場にに応じて工夫し、充実した生活を送っていました。その姿は実に立派でうれしく感じていました。このような状況だからこそ、培うことができた一人ひとりの力と仲間との絆は、これから歩む人生の中で大きな財産になると思います。この一年の経験を自信として、卒業生には新しい世界で、在校生には、「上白根中学校」の生徒として更に前進してほしいと思います。

また、職員にとっても経験のない1年となりました。子どもたちの安全を第一に、日々変わる状況を考え判断し、試行錯誤しながら様々な取組を進めてきました。おかげさまで前述のように子どもたちの確かな成長を感じることができ安堵しているところです。このように充実した教育活動が進められたのも、1年を通して保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援、ご協力があつたからこそと感じています。本当にありがとうございました。

本校は、令和5年度から新たな出発を迎えますが、これからも上白根中学校を築いてこられた諸先輩方への感謝の思いを大切に、子どもたちの確かな成長を目指して進んでまいります。これからも保護者、地域の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

「第 50 回 卒業証書授与式」

記念すべき第 50 回「卒業証書授与式」が 3 月 11 日（木）に執り行なわれました。

入学式の呼名では、「はい」という声は幼い声でしたが、卒業式は大人びた声になっていたことに成長を感じました。また、生徒会長、高野絢海さんの「門出の言葉」は 3 年間の思い出と心情的な変化も語られ、全員合唱「旅立ちの日に」とともに心に残る内容でした。また、コロナ禍の影響で各家庭保護者 1 名までの参加でしたが、式後は立て看板の前で、一人ひとり記念撮影をし巣立っていきました。50 回目の卒業式として印象深い式になりました。



3 年「卒業遠足～箱根～」

このコロナ禍の関係で修学旅行が延期、そして中止になり、三年生になって唯一の校外行事が、この「卒業遠足～箱根～」になってしまいました。とは言え、箱根登山鉄道で「彫刻の森」へ芦ノ湖では海賊船に乗船し、活動には影響はなかったものの雪が舞う場面があり、天気は今一つでしたが生徒たちは満喫できたようです。大涌谷で、食べると 7 年長生きができるという「黒卵」をお土産に買い中学最後の思い出深い遠足となりました。



自然教室（遠足）を終えて

3月16日（火）に2学年は箱根に自然教室（遠足）に行ってきました。例年、5月下旬に戸狩で2泊3日の自然教室を行ってきましたが、今年度はコロナ禍ということもあり、3月に箱根への自然教室（遠足）という形で行いました。当日の箱根は強風に見舞われ、ケーブルカーや海賊船が運休になるアクシデントはありましたが、箱根神社に参拝するなど生徒たちがどの子も笑顔で過ごしていたのが印象的でした。大涌谷では立ってられないほどの暴風を経験をしました。

今年の自然教室のスローガンは「Let's enjoy! ～自然のよさを考えるな 感じろ～」でしたが、この自然教室（遠足）で自然の多様さを感じ、皆と協力して過ごすことができたと思います。



令和2年度学校評価の結果より

【保護者の意見】

- 数学の授業でしたが、クラスを半分に分けて教えて頂いて、子供達に教えやすくなっていて良かったです。子供達の様子を見ながら、問題も多く出されていて、考える時間も多くとられていて、良いと思いました。
- 中学1年生の集中力ってこんなものかなぁと少し残念に思いました。
- みんな話を聞いていて、理解しやすいと感じました。
- 数学は、このコロナ禍の為、クラスを半分ずつだったと思うのですが、授業に集中しているし、班で生徒同士教え合っている様子もガヤガヤしないので、丁度いいと思いました。先生の日も行き届いている感じがして安心しました。
- 黒板に図形を映して授業をしているのを見て、私たちの時と時代を感じてしまった。分かりやすい授業をしていて良かった。
- 職業、皆おのおのが積極的に取り組んでいるようにみえました。
- 手厚く指導して下さり感謝しています。子供達も真剣に取り組んでいました。
- 活動的などころ全体を見ているところ、ゴミが落ちていたら拾って捨てるなど等々落ち着きも含め、成長を感じました。ありがとうございます。表情も表現方法もよいと思います。子供たち皆、生き生きしてアットホームでよいと思います。

【学校関係者の意見】

- 全ての職員が子どもの情報を共有し連携して子どものために取り組んでいることが実感できる。
- 学校外の生徒の様子から、改めて新しい生活様式を含めた意識の向上を図ることが望ましい。
- 学校外の様子から生徒が元気に生活している様子を見て安心している。
- 感染防止に対する配慮がしっかりと丁寧に行われており安心している。
- 感染症拡大状況で多くの行事が中止や延期となり残念であるが、子どもの学びと成長を一番に考え様々な工夫をしており、感謝している。

などです〈自由記述欄より一部要約〉

今年度は、感染症拡大防止の観点から、学校・家庭・地域とのかかわりをもった教育活動ができず、その項目は数値を多少下げていますが、全体的にはポイントがアップしています。今後も学校教育目標の具現化に向け、教職員みんなでよりよい学校づくりをしていきます。今後とも、何とぞ本校の教育活動により一層の御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

4月の予定

- 7日（水） 着任式 始業式 入学式
- 8日（木） 離任式 退任式
- 9日（金） 生徒会・部活動オリエンテーション
- 12日（月） 身体計測 教育相談（～15日）
- 16日（金） 授業参観 学校説明会・部活動説明会 学級懇談会
- 17日（土） 創立記念日
- 22日（木） 地域訪問①
- 26日（月） 地域訪問②
- 27日（火） 市学力学習状況調査
- 28日（水） 内科検診